

☆大雪の翌日



1月22日（木）午後に降り出した雪は次第に勢いを増し、午後3時過ぎには県内各所に大雪警報も出されました。生徒は3時を少し回った頃には全員が下校し、夕方から夜にかけて降りしきる雪の中、職員も帰路につきました。

翌朝、早いうちから職員で雪かきをしました。生徒が通る敷地内の通路や駐輪場を中心に行いました。粉雪でフワフワの雪質であったので除雪するにはありがたい雪

でしたが、それでも作業は一苦労でした。前橋市で29cmの積雪ということでしたので、雪国の方々から見れば、「その程度では大雪とは言いませんよ」と言われそうですが、朝、学校の様子を見たときは、「生徒の登校は大丈夫かな」と心配になりました。

しかし、先生方が次々に到着し、せっせと作業をしてくれました。また、大変ありがたかったのは、近くに住んでいらっしゃる区長さんや地域の方が手伝ってくださったことです。本当にうれしい限りです。

この日は転倒事故等を防ぐために徒歩通学にしました。帰宅には時間がかかりますし、夕方以降の道路の凍結も心配なため、放課後と翌朝の部活動も無しにしました。生徒の皆さんはエネルギーがたまっていると見えて、昼休みは元気いっぱい雪合戦をしていましたね。私は朝の疲れがどっと出て校長室でグッタリしていましたが、外をのぞいてみると、皆さんが生き生きと遊んでいるのがよく見えました。



面接練習が一段落し、校舎を回っていたところ、玄関の下駄箱が目にとまりました。下駄



箱の上には、長靴が整然と並んでいました。朝、登校する皆さんの中には長靴を履いてきた生徒もたくさんいましたが、「そういえば、みんな下駄箱の上に丁寧に置いていたな」と思い出しました。

何気ないことですが、玄関の上に並んでいる長靴は、一足たりともいい加減に置かれたものはありませんでした。こういうところを意識できることは素晴らしいことだと思います。

大雪の日、翌朝のことが気になって、ずっとニュース番組を見ていました。東京では、駅の構内に人があふれ、入りきれない人々が雪の降りしきる中、バスやタクシー乗り場に行列を作っている姿を見ていました。この時期に毎年のように見られる光景だと思いますが、「自然の力には人間は全く歯が立たないな」といつも思い知らされます。雷雨や台風の季節も心配です。突然大きな地震が起こることもあるかもしれません。

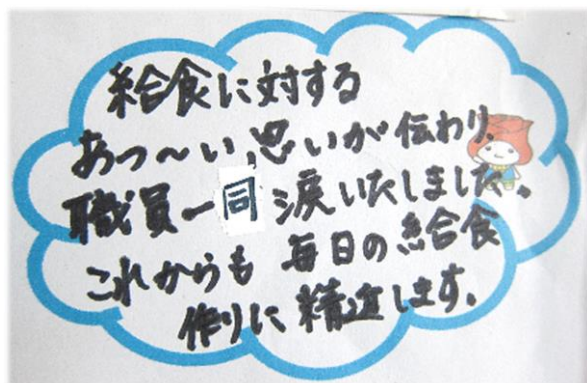
しかし、きれいに並んでいる長靴を見ながら、「南中の生徒は、いざという時にしっかりした行動がとれそうだな」と思いました。こういう姿をこれからもたくさん見せてほしいと思っています。

☆給食への思い

1階コンテナ室の左隣の壁に給食センターへの手紙が貼られています。月ごとに献立のリクエストや感想を送っていて、センターの方々の回答やコメントが添えられています。

毎年この時期の生徒の文章には特徴があります。それは、給食に対する感謝の気持ちがつづられているものが多くなるということです。あと数ヶ月で1年も終わりになるという時期だからでしょうか。12月の1年生の感想に次のような文が書かれていました。

「いつもなにげなく食べている給食がとてもありがたく感じます。ありがとうございます。」
また、3年生の感想には次のような文が書かれていました。



「いつもおいしい給食ありがとうございます。小学校から長い間食べてきた給食を食べるのはあと3ヶ月くらいだと思えば悲しいです。中学卒業まで大事に食べたいと思います！！」

3年生の感想に対する給食センターの方のコメントが左のものです。

今、3年生は一生懸命に受験に向かって頑張っています。そして、あと1カ月半で卒業が控えています。給食を食べられるのも、あとわずかです。先ほどの素直な感想には、「中学校生活が、

もう少しで終わってしまう」という寂しさがにじみ出ています。

南中生の皆さん。卒業してしまえば給食を食べたくても食べられません。中学校生活は、あっという間に過ぎ去ってしまいます。1年生も2年生も3年生も、毎日残さず、おいしくいただいでください。

☆ふと思ったこと

3年生の教室を回っていて、手作りの日めくりカレンダーを見つけました。

そこには、「あと31日」とありました。暦の上では、卒業式までに1カ月半残っているのですが、登校する日数は31日間です。

「丸1カ月しか残っていないんだな」と少し感傷的になりました。生徒玄関のガラスケースは空っぽです。トロフィーや楯は、それぞれ皆さんの教室に飾られています。どの学年も必死にがんばって、皆さんが感動の涙を流した行事の様子を思い出しました。

授業も真剣に取り組んでいますね。

1年生も2年生も3年生も、あと少しの今のクラスの仲間を大切にしてください。仲良しでいつも楽しく話をしている友だちだけでなく、あまり話をしない、特別仲が良いわけではないクラスの友だちも、隣に座っている友だちも、間違いなく優勝や最優秀賞を目指して必死にがんばった仲間です。1年間、一緒に勉強をした仲間です。今のクラスの仲間が次の学年でも全員一緒になることはありません。3年生は卒業後、それぞれ別々の人生を歩むことになります。もしかすると、もう会えない人もいるかもしれません。

お互いの気持ちを考えましょう。1日1日を大切にしましょう。

「苦しいこと、つらいこともあったけど、このクラスで良かったな」と思える1カ月に出来るといいですね。

